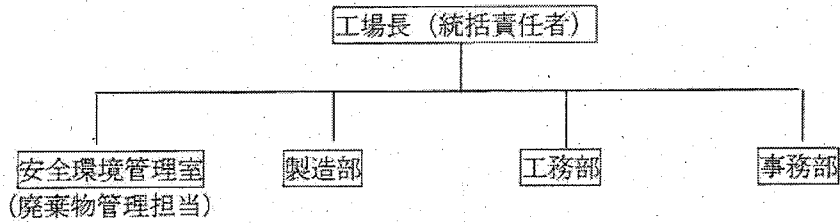




産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

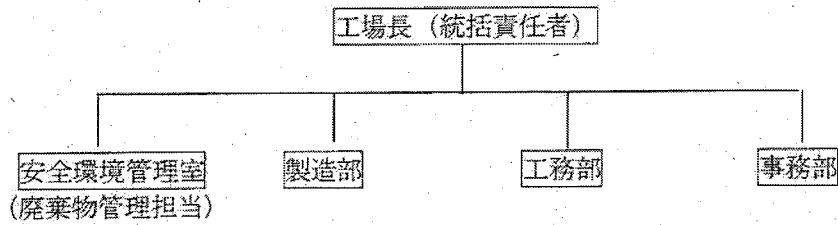
①現状	【前年度 (2022年度) 実績】				
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃プラスチック
	排出量	2,941t	84t	200,944t	8,058t
	(これまでに実施した取組) 焼却炉の安定操業				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃プラスチック
	排出量	3,700t	100t	209,000t	8,600t
	(今後実施する予定の取組) 焼却炉の安定操業				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・磁選機による金属類の混入防止
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・磁選機による金属類の混入防止

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2022年度) 実績】			
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油	不燃物
	排出量	0.9t	14t	2.8t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃油の一部有価物として売却			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油	不燃物
	排出量	2t	15t	6t

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 工事残材の持帰りを業者へ依頼
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 工事残材の持帰りを業者へ依頼

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項				
(管理体制図)				
<pre>graph TD; A[工場長 (統括責任者)] --- B[安全環境管理室 (廃棄物管理担当)]; A --- C[製造部]; A --- D[工務部]; A --- E[事務部];</pre>				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度 (2022年度) 実績】			
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯 (廃水銀灯含)	廃PCB	廃アルカリ
	排出量	0.3t	0t	15.8t
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯 (廃水銀灯含)	廃PCB	廃アルカリ
	排出量	0.2t	3t	0t
産業廃棄物の分別に関する事項				
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄物分別状況の監視			
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄物回収部門による監視強化			

## (第3-1面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
①現状	【前年度（2022年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物量	0t	0t	0t	0t
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
①現状	【前年度（2022年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	23,960t	7,910t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	196,726t	7,910t
(これまでに実施した取組) 焼却炉の安定操業					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	24,000t	8,000t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	197,000t	8,000t
(今後実施する予定の取組) 焼却炉の安定操業					

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度(2022年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油	不燃物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物量	0t	0t	0t
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油	不燃物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度(2022年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油	不燃物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油	不燃物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（2022年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯 (廃水銀灯含)	廃PCB	廃アルカリ
	自ら再生利用を行 った産業廃棄物量	0t	0t	0t
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯 (廃水銀灯含)	廃PCB	廃アルカリ
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	0t	0t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（2022年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯 (廃水銀灯含)	廃PCB	廃アルカリ
	自ら熱回収を行 った産業廃棄物の量	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	0t	0t	0t
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯 (廃水銀灯含)	廃PCB	廃アルカリ
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量 する産業廃棄物の量	0t	0t	0t

## (第4-1面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（2022年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（2022年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	2,941t	83t	320t	148t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	2,941t	83t	320t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	148t



自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度(2022年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油	不燃物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油	不燃物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度(2022年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油	不燃物
	全処理委託量	0.9t	14t	2.8t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	0.9t	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	14t	0t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度(2022年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯 (廃水銀灯含)	廃PCB	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0t	0t	0t
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯 (廃水銀灯含)	廃PCB	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	0t	0t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度(2022年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯 (廃水銀灯含)	廃PCB	廃アルカリ
	全処理委託量	0.30t	0t	15.8t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t	0t	0t
	再生利用業者への 処理委託量	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t

②計画	<b>【目標】</b>				
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	3,700t	100t	600t	300t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への 処理委託量	3,700t	100t	600t	0t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	300t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油	不燃物	
	全処理委託量	2t	15t	6t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t	0t	0t	
	再生利用業者への 処理委託量	2t	0t	0t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	15t	0t	

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯 (廃水銀灯舎)	廃PCB	廃アルカリ
	全処理委託量	0.2t	3t	0t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t	0t	0t
	再生利用業者への 処理委託量	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。